

1. 意見

別紙のとおり

## 別紙

近年、地球温暖化現象が起因と考えられる様々な異常気象による被害が世界規模で起きており、人命や財産などに甚大な被害を及ぼしています。

この地域においても、局地的な集中豪雨により河川氾濫による農地等への被害も発生している状況です。実際に、昨年の大雨による河川の増水を目の当たりにして、洪水になるのではないのかととても不安を感じました。

今後においても、異常気象による大雨で、河川氾濫による大きな被害が予想され、人命や財産を守るため、河川整備に対する様々な取り組みが必要であり、堤防、河岸の整備、河道の掘削や保水力を高めるための森林整備の推進はもちろんのこと、治水策をより強固なものにするためには、ダム建設が必要不可欠であると考えます。

流域住民が安心・安全に暮らし続けるためには、より多くの手法を用いなければ、近年の異常気象には対応できないのではないかと思います。

ダム建設に対して、自然環境や動植物生息地の破壊が懸念されることですが、人命や財産を守るためには、やはり最小限の犠牲はやむを得ず、未来永劫この流域に住み続けようとする人々を守ることを第一に考え、そして、引き替えとなるその犠牲をいかに少なく食い止めていくかを真剣に検討していただきたいと思えます。例えばサクラマスなどの遡上への影響を最小限に抑えるような魚道の設置も計画されていますが、形だけではなく、実際に機能するものを設置するよう十分な検討していただきたいと思えます。

災害はいつやってくるか分かりません。大きな被害に遭ってから後悔しても遅いのです。今できることがあるなら早急に取り組みなければなりません。

先人が築き守り育てたこの地と、流域住民の命と財産を守るためにも、「天塩川水系河川整備計画」を早急に策定し、一刻も早いサンルダムの建設を強く望みます。